

試合とならないでしょう。森保監督はこの点、十分留意すべきです。

とりとめの無い事を述べてきましたが、この雑文が印刷される頃はワールドカップの結果は無論、野球の優勝争いの趨勢も明らかと

なっているかもしれません。ワールドカップで青山選手が活躍して上位の成績を勝ち取り、カープが優勝していることを願いながら筆を置きます。

☆

新臨床研修制度導入後の 広島県の研修医の推移

広島国際大学医療経営学部 教授 江原 朗



新臨床研修制度が導入されて以降、地方の医師不足が加速したといわれています。そこで、広島県内の7つの二次医療圏における研修医の数の推移を見てみることにしました。

平成15年から17年の研修医の平均と平成21年から23年の研修医の数の平均を見ました。病院ごとの研修医のマッチングの数は、医師臨床研修マッチング協議会のホームページ (<http://www.jrmp.jp/#>) の各種データ

から引用できます。

さて、平成15年から17年の平均と平成21年から23年の研修医の数を比較すると、広島県全体では増えてはいるものの、広島二次医療圏、広島西二次医療圏以外の地域では、研修医が減少していることがわかります。都市部での研修医の増加と地方における研修医の減少は数字の上でも明らかになっています。

二次医療圏	H15~17マッチング平均	H21~23マッチング平均	差
3401 広島	80.7	91.3	10.7
3402 広島西	6.3	10.7	4.3
3403 呉	29.7	27.0	-2.7
3404 広島中央	2.0	1.3	-0.7
3405 尾三	5.7	5.3	-0.3
3406 福山・府中	12.0	11.7	-0.3
3407 備北	2.0	1.3	-0.7
合計	138.4	148.6	10.2